



3月14日(火) 4年ぶりに卒業生・在校生の全校生徒が共に集う 「第76回卒業証書授与式」を開催します! 3年生224名の新しい門出に幸多きことを心より願っています!

まだまだ肌寒い日もありますが、季節は確実に春へと移り変わり、本校武道場裏の河津桜は満開の時期を迎えています。また、校長室に差し込む陽光も一段と明るくなり、天気の良い日には、昼休みに運動場で遊ぶ生徒たちの元気な声が、温かな春風と共に私の耳を楽しませてくれている今日この頃です。

さて、3月7日・8日に実施された「公立高校後期選抜学力検査」では、本校からは98名の3年生が受検しました。春の新生活のスタートに向けて、受検者全員の合格を願っているところですが、この受検が終了するということは、いよいよ本校最大の学校行事「第76回卒業証書授与式」に向けて、本格的に準備・練習が始動していくこととなります。

公立高校「後期選抜」を受検しなかった3年生の生徒達も「立つ鳥運動」に取り組み、中学校という青春時代を過ごした学舎である教室・廊下・トイレ等の清掃活動を一生懸命行ってくれました。表情も明るくさわやかで、母校に対する愛校心がしっかりと感じられる誠実な活動でした。また、この「立つ鳥運動」を通して、卒業に向けての気持ち・決意というものを、しっかり作り上げようとしているようにも感じました。「立つ鳥運動」に参加してくれた3年生のみなさんには深く感謝しています。本当にありがとうございました。

また、1・2年生も、残り少なくなった3学期末の学校生活を過ごす中で、この一年間の学習の復習や進路学習に取り組みと共に、「学年レク」では今年度最後の思い出づくりに仲間と共に有意義な時間を過ごしていました。きっとそのような時間を通して、3年生卒業後の本校の担い手としての意識や自分の進路実現に向けた思いを次第に固めているのだと思います。

そして、いよいよ3月14日(火)「第76回卒業証書授与式」を開催します。これまで新型コロナ感染症拡大防止のため、卒業式は卒業生・職員・保護者の三者のみの参列で開催してきましたが、4日後に控えた卒業式では、4年ぶりに保護者・来賓の皆様方にも参列いただく中で、卒業生、在校生の全校生徒と全職員が共に集う形で開催させていただきます。

本校の3年生224名の新たな門出を祝うこの三月の良き日、多くの保護者の皆様にご臨席をいただく中で、厳かな雰囲気の中にも、卒業生をお祝いする温かな思いがたくさん詰まった「第76回卒業証書授与式」を開催できればと思っています。「チーム郡」の力を結集して、素晴らしい、記憶に残る卒業式を作り上げていきましょう! よろしくお祈りします。



1年生「球技大会」

確かな成長と固い絆が感じられました!



体育館での白熱したドッジボール



このボールブロックの高さをご覧ください!

運動場では熱いハンドボールの戦いが

3年生「立つ鳥運動」

愛校心が感じられる誠実な取組でした!



廊下の黒ずみを真っ白に!



扇風機等、高い所はお任せください!



トイレもピカピカに磨きました!



エアコンのフィルター清掃も大切です!

第77代生徒会スローガン決定！

築立ちゆく3年生のみなさん、安心して下さい！
これからは第77代生徒会が千一郡を守っていきます！



ちょう えつ
超 越

～今を遥かに超えていけ～

このスローガン「超越」に込めた思いは、「超」には、今までの生徒会の遥か上を目指し、伝統を受け継ぐ中で、新しい郡中を築き上げていくという思いを、そして、「越」には、ワンストップ挨拶などの学校の課題を解決する、乗り越えるという思いが込められています。

次にサブタイトル～今を遥かに超えてゆけ！～には、今を超えていくのは生徒会だけではなく、全校生徒、そして、学校全体であり、今に満足せず、常に上を目指して取り組むという決意が込められています。

現在、第77代生徒会であいさつ運動に力を入れて取り組んでいます。大きな、相手に届く声で「おはようございます」その一言が気持ちのいい朝のスタートになるはず。挨拶が誇れる郡中となれるように全員で取り組みましょう。 2年副会長 梅津 宗朔

第77代生徒会スローガン

忘れてはいけない記憶 あれから12年

「2011.3.11 東日本大震災」

大切な命を守るため、これからの防災に向けて真剣に考えていきましょう。

2011年（平成23年）3月11日（金曜日）14時46分18秒、宮城県牡鹿半島の東南東沖130km（北緯38度06.2分、東経142度51.6分、深さ24km）を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生しました。地震の規模はマグニチュード（M）9.0で、発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震でした。

この地震により、場所によっては波高10m以上、最大遡上高（※津波が、海岸から内陸へかけ上がる時の高さのこと。）40.1mにも上る巨大な津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生しました。また、福島第一原子力発電所におけるメルトダウン発生は、地球規模で大きな衝撃を与えると共に、巨大津波以外にも、地震の揺れや液状化現象、地盤沈下、ダムの決壊などによって、広大な範囲で被害が発生し、各種インフラが寸断されました。また、この東日本各地における大きな揺れや大津波・火災などにより、東北地方を中心に12都道県で1万8423名の死者・行方不明者が確認されています（2022.3.9警察庁発表・震災関連死を除く）。

この東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から12年を迎えようとしていますが、福島原発事故の被災者を含め、いまだ多くの方々避難され、長期にわたって不自由な生活を送られている現実があります。そのことを心に刻み、少しでも早く復興が進むことを願うと共に、またこの震災により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表すため、本校においても3月11日14時46分に、全校生徒・職員で1分間の黙祷を捧げたいと思います。なお、今年の3月11日は土曜日であるため、家庭や部活動中の黙祷になることが予想されます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。（※参考資料 ウィキペディア（Wikipedia））



熊本地震

平成28年4月14日21時26分、熊本県熊本地方においてマグニチュード6.5の地震が発生。

大村7月豪雨

令和2年7月6日に警戒レベル5相当の「大雨特別警報」が発表され、1976年の観測開始以来最大となる24時間雨量384ミリを観測した。

トルコ・シリア地震

令和4年2月6日（月）の午前、トルコ中部を震源とするM7.8の地震が発生。その9時間後の夜には、少し北に離れた所でM7.5の地震が発生した。

東日本大震災の後も、私たちの記憶に残る様々な災害が頻繁に起きているのです！